科目ナンバー	SEM-1-001-ky				科目名基礎演習!(大嶋)						
教員名	,				+=-				2		
<u> </u>				開講年度学期 2020年度 前期							
概要	心理・人間文化コース:基礎演習においては、大学生活に必要となるノートのとり方、図書館やコモン ズなどの学習環境の活用方法、レポートの書き方、発表の仕方、プレゼンの仕方などの、大学生活に必要 最低限とされるアカデミック・スキルを学ぶことにより「生徒から学生になる」ことを目指します。 また、友達を作る、キャンパスを知る、大学生活に慣れる、4年間の学生生活に必要な基礎的なことを体 得することを目的とします。										
到達目標	基礎演習に ①4年間の大 と。 ②大学で学ぶ	基礎演習Iにおいては以下の3点を目標とする。 ①4年間の大学生活を送る上で同級生となる心理・人間文化コースの同級生たちとのつながりを作るこ									
「共愛12の力」との	の対応										
識見		自律する	カ		コミュニケーションカ 問題			問題に対			
共生のための知識	t	自己を理解する力		0	伝え合う力		O 5	か析し、思考する力		י כ	
共生のための態度	E ()	自己を抑制	制する力		協働する力		<ul><li>有</li></ul>	構想し、実行する		J ()	
グローカル・マイ ンド		主体性		0	関係を構築する力		O 3	実践的ス	キル	0	
教授法及び課題のフィードバック方 法	基礎演習は心理・人間文化コースの1年生全員で行う回と、個別のゼミでのグループ活動を行う回があります。  各回とも、聞くだけの授業ではなく、グループワークやディスカッションなどのアクティブラーニング形式の授業が行われるため、学生の積極的な参加が求められます。 レポートなどの課題の提出があり、提出の翌週以降に、担当教員から口頭での解説、コメントなどのフィードバックがあります。 各回の授業ではSA(基礎ゼミサポーター:2年生以上の学生スタッフ)が授業をサポートしてくれます。										
アクティブラーニン	<b>ノ</b> グ (	)	サービス	ラーニング			課題解決型	学修			
受講条件 前提 科目											
アセスメントポリ シー及び評価方法	レポート(80%)ディスカッションなどへの参加度(20%)によって総合的に評価する。										
教材	適宜配布します。										
参考図書	森 靖雄『大学生の学習テクニック』大月書店函館大学基礎教育研究会『ちょっと向学心 自分を磨くおもしろ技法』北海道新聞社										
内容・スケジューノ	<u></u> ν										
1週目	<u> </u>										
	心理・人間文化	(コースに。	とうこそ								
授業外学修内		3理・人間文化コースにようこそ 					数 1				
: 授業学修内容	大学のキャンパスを知る①図書館・宣教師館 図書館スタッフを中心に図書館のガイダンスを行い、共愛の歴史への理解を深めるために宣教師館を訪れ ます。										
授業外学修内 容	図書館の利用の仕方について理解し、実際に本を借りてみます。				時間	数 1					
3週目											
授業学修内容 :	大学のキャンパスを知る②ラーニング・コモンズ・学生相談室・保健室 コモンズコンシェルジュを中心にKYOAI COMMONSのガイダンスを行い、学生生活におけるメンタルサポートのガイダンスを受けます。										
授業外学修内 容	コモンズについ	Eンズについての簡単なクイズを行います。 時間数 1									
4週目											

授業学修内容	アカデミックスキル①心理・人間文化コースとは						
[2017] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1	自分たちが学ぶ心理・人間文化コースについて、サポーターの先輩たちにプレゼ らいます。	シテーションを	行っても				
授業外学修内 容	プレゼンに対して、感想を作成します。	時間数	1				
5週目			•				
	アカデミックスキル②ノートの取り方						
授業学修内容	大学生として、講義の際のノートの取り方を先輩たちが実例をあげながらレクチーワークを行います。	ャーし、その後	グループ				
授業外学修内 容	ノートの取り方についてリフレクションを行います。	時間数	1				
6週目							
授業学修内容	アカデミックスキル③発表・討論の仕方 大学生としての発表討論の仕方を先輩がレクチャーし、その後グループワークを	行います。					
授業外学修内 容	発表・討論の仕方についてリフレクションを行い、次週の発表の準備を行います。	時間数	1				
7週目							
授業学修内容	グループワーク 発表・討論1人10分程度の発表を行い、その後討論を行います。						
授業外学修内 容	発表・討論の仕方についてリフレクションを行います。	時間数	1				
8週目							
授業学修内容	先輩によるプレゼン① 2・3・4年生の先輩たちが、正課外活動として授業外でどのような活動を行っているのか、いくつかの事例 を紹介してもらいます。						
授業外学修内 容	プレゼンに対して、感想を作成します。	時間数	1				
9週目	•	•	•				
授業学修内容	グループによるプロジェクト学習 グループで行うプロジェクト学習について、プロジェクトの進め方、発表の仕方な	どについて学え	 No				
授業外学修内 容	ゼミのメンバー・コースのメンバーとの親睦を深めます。	時間数	1				
10週目							
授業学修内容	レクリエーション① コース学生教職員の親交を深めるためにレクリエーション型ワークを行います。						
授業外学修内 容	ゼミのメンバー・コースのメンバーとの親睦を深めます。	時間数	1				
11週目							
授業学修内容	レクリエーション② コース学生教職員の親交を深めるためにレクリエーション型ワークを行います。						
授業外学修内 容	ゼミのメンバー・コースのメンバーとの親睦を深めます。	時間数	1				
12週目							
授業学修内容	プロジェクト課題発表会 ポスター形式で、グループプロジェクトの成果を発表する。						
授業外学修内 容	プロジェクト発表のリフレクションを行う。	時間数	1				
121田口							
この個日	アカデミックスキル④レポートの書き方		<b>⊸</b> -				
·	大学生として、レポートの書き方をラピタデスクの学生たちにレクチャーしてもらい ークを行います。	い、その後グル	- ) )				
13週目 授業学修内容 授業外学修内 容		い、その後グル時間数	1				

授業学修内容	上級生によるプレゼン コースの上級生達から、後輩たちに向けてのアドバイスをプレゼンテーションしてもらいます。					
授業外学修内 容	プレゼンに対して、感想を作成します。	時間数	1			
15週目						
授業学修内容	これまでのまとめと振り返り					
授業外学修内 容	これまでの活動についてリフレクションを行います。	時間数	1			
上記の授業外学修時間の合計 15						
その他に必要な自習時間		75				

Number	SEM-1-001-ky		Freshman Basic Seminar I				
Name	大嶋 果織(Oshima Kaori)	Year and S emester	First semester fo r 2020	Credits	2		
Course 0	The aim of this course is to help students acquire the necessary knowledge and academic skills needed for achieve a better performance in their university studies. For example, short report, p resentation, and note taking. At the end of the course, students are expected to become "Undergraduates".						